

来週の「売り物」記事はこれ

2013年4月12日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

介護、みとり……人間社会映す

高齢化ペット 介護の現実 朝刊 14日(日)



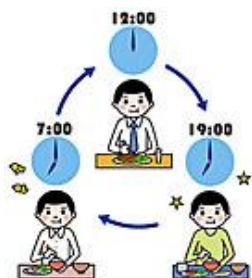
ペットとして飼われている犬猫は約 2000 万匹を超えます。栄養バランスなどに配慮したペットフードの増加や獣医療の技術向上で、平均寿命は 10～15 年に延びています。その結果、人間と同様、がんや認知症にかかるペットも増え、老人ホームならぬ「老犬ホーム」やペット向けのショートステイ施設など、介護施設も登場しています。一方で、飼い主が高齢化し、「家族の一員」だったペットを手放すようなケースも見られます。知られざるもう一つの「長命社会」の現実と悲しみを追います――。



日曜朝は『S』で始まる――。ストーリーにご期待ください。

「体内時計 正しく刻もう」

くらしナビA面 16日(火)



体内時計の乱れが、肥満や高血圧、脂質代謝異常など生活習慣病の発症にかかわっていることが分かってきました。子どもの場合、体内時計のリズムが崩れると、学校の成績に影響するという調査結果もあります。規則正しく体内時計を刻むポイントを紹介します。

「矢沢心さん インタビュー」

くらしナビA面 19日(金)

女優、タレントとして活躍する矢沢^{しん}心さん(32)は、5年間の不妊治療を経て、昨年6月に長女を出産しました。最近、体験をつづった「ベビ待ちゴコロの支え方」(主婦の友社)を出版。不妊治療の経緯や本を通して伝えたかったこと、治療を振り返って思うことなどを聞きました。



「減築って何？」

くらしナビA面 20日(土)



子どもの独立などで使わなくなった部屋をもてあます中高年層が、生活実態に合わせて家をコンパクトにリフォームする「減築」が注目され始めています。平屋の一部を取り去って趣味のガーデニングスペースに充てるような小規模なものから、階数まで減らすケースまでさまざまです。減築の経験者に、方法やメリットを教えてください。

冬ソナから10年 韓流は今

夕刊特集ワイド 16日(火)

日本に韓流を大ブレイクさせた韓国ドラマ「冬のソナタ」が放映されてから10年が経過した。今や東京・新大久保には韓国人男性のイケメンカフェがあふれ、韓国人芸能人のファンミーティングが日本で頻繁に開かれている。先の男性3人組JYJの東京ドームコンサートは3日間で15万人を集めた。その一方で、日本と韓国の関係領土や歴史認識をめぐる進展はなく、過激な言葉で韓国人を誹謗中傷するデモをする人たちも……。この10年は何だったのかを考える。



オルゴールに癒やされたパーキンソン病の患者

新総合面で16日(火)朝刊から



病を抱えながらも前向きに生きる人たちのドラマを描く4月からの連載「生きる物語」の第2シリーズは「音に癒やされて」です。若年性パーキンソン病の患者で、京都市在住の辻井裕美さん(56)を2週にわたって取り上げます。幼稚園の先生をしながら幸せに暮らしていたころ、思わぬ病名を告げられた辻井さん。失意の心を安らかにしてくれたのはオルゴールの美しい音色でした。

ミャンマーの民主化運動指導者

アウンサンスーチー氏が13~19日、来日

毎日新聞で「ビルマからの手紙」を連載しているミャンマーの民主化運動指導者、アウンサンスーチー氏(67) =写真=が13~19日、27年ぶりに来日します。

急速に民主化が進むミャンマーは「アジア最後のフロンティア」と呼ばれ、大きな発展の可能性を秘めています。スーチー氏は東京のほか、85~86年に滞在した京都も訪問し、講演や会談などを行う予定で、毎日新聞は日本での動向をきめ細かく報道します。

